モザイク通信

No.130　February 2024

発行：モザイク会議　議長　森敏美
モザイク会議事務局：〒185-0012　東京都国分寺市本町 4-12-4　司アートシティ 104
モザイク会議ホームページ：https://maa-jp.com/　Email: maaj@maa-jp.com
編集／作成：モザイク会議運営委員会

2024 年定時総会の日時が決定いたしました！

日時：　2024 年 4 月 7 日(日)　午後 1～5 時
会場：　渋谷勤労福祉会館

定時総会の案内ならびに出欠に関する連絡は、今まで往復はがきで行ってきましたが、
今回はメール配信にします。
案内は 3 月初旬にメールで配信します。見逃しのないようにお願いします。
出欠確認、委任状の提出もメールで行って頂きます。よろしくお願いします。

モザイクテーマ展 2024 のテーマが決まりました！

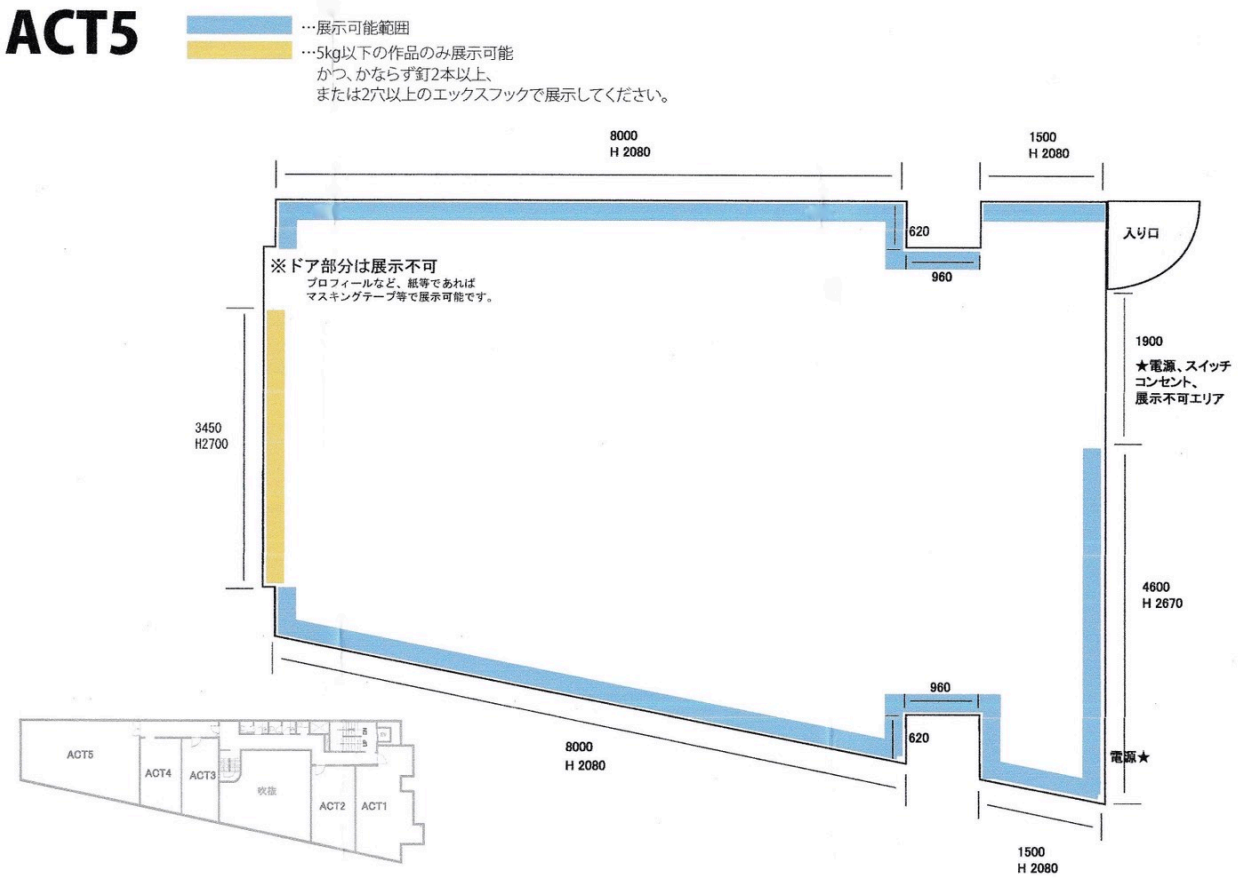
テーマ：「モザイクの散歩道」

散歩中に出会う景色、動物、出来事、などをテーマにした作品を募集します。
画廊では展示台と床に作品を並べて、その間を観賞してもらいます。来年開催予定の「モザイク展 2025」でも、あざみ野の 2 階ギャラリーに散歩道のコーナーを作り、今回の作品を見てもらいながら、モザイク会議の 30 年を振り返る展示を考えています。立体または自立する平面作品限定です。
（次ページに会場見取り図、写真あり）

募集要項ならびに展覧会概要は 2 月中に郵送します。
参加申し込みはメールでお願いすることになります。よろしくお願いします。

会期：　2024 年 11 月 5 日(火)～10 日(日)　（6 日間）
会場：　アートコンプレックスセンター2F　ACT5　（25 坪）
　　〒160-0015 東京都新宿区大京町 12-9

モザイクテーマ展 2024 会場見取り図・写真



立体制作ワークショップのご案内

モザイクテーマ展 2024 は立体作品が中心の展示になりますので、立体の作り方に不慣れな人のために、ワークショップを用意しました。

会場:　モザイク会議事務局（国分寺駅徒歩３分）
講師:　土屋忠宣、喜井豊治
参加費:　2000 円 当日集金

１）　6 月 16 日(日) 13:30～16:30
２）　6 月 23 日(日) 13:30～16:30

２月中に展覧会募集要項と一緒に郵送します。詳細はそちらをご覧ください。
こちらも参加申し込みはメールで受け付けます。

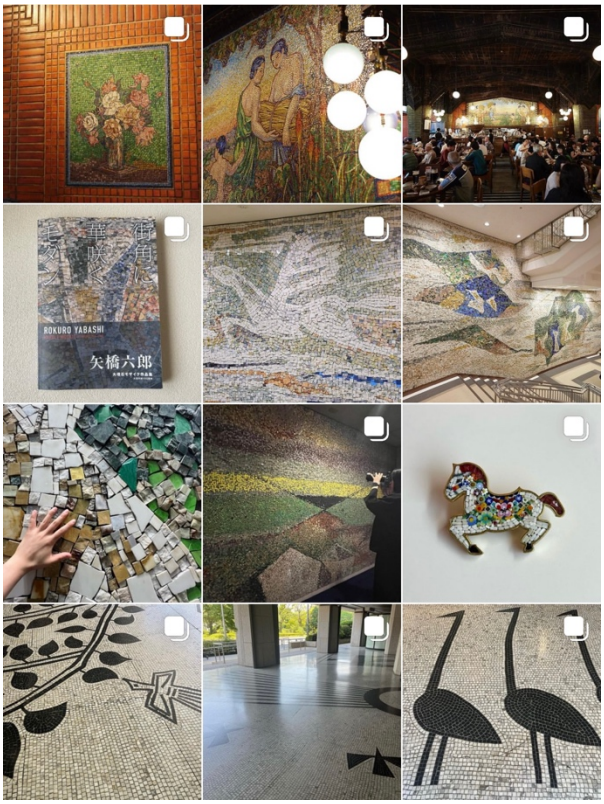
モザイク会議インスタ開設のお知らせ

飯野夏実　　クラフトスタジオ カラクサ主宰

2023 年の総会の後、モザイク会議のインスタグラムアカウントを開設しました。月に数回、投稿をしています。私はこのような情報発信があまり苦にならないタイプなので、インスタ係に立候補してみました。また、このことをきっかけにして、国内の壁画作品を見てまわろうという気持ちもありました。

モザイク展の報告、会員の個展情報、本の紹介など、これまで興味のなかった方にもモザイクを知ってもらえるように、いろいろ工夫してやってみようと思います。

今月、フォロワーが 500 人を超えました。モザイク会議の諸先輩方に内容を相談せず、私の趣味で運営しているような感じになってしまい、これは大丈夫なのだろうか…？と少し心配しつつも、インスタは更新頻度や写真の並べ方、読んでもらえる長さの文章などが肝心だと思いますので、SNS 世代の勘（？）でしばらくやってみよう、というところです。

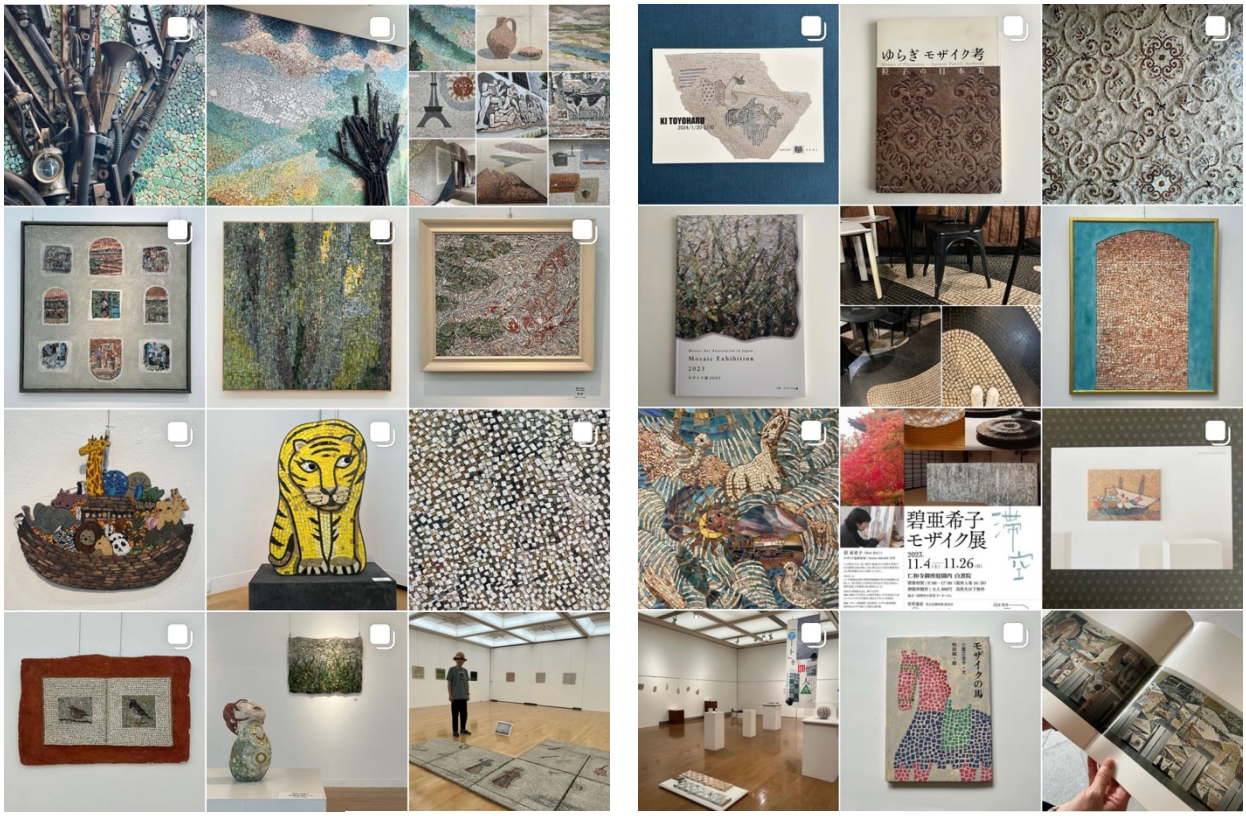


モザイク会議インスタグラムのスクリーンショット

みなさんもぜひフォローしてください。アカウント名前は、**mosaic_kaigi** です。展覧会やワークショップの告知など、下記のアドレス、もしくはインスタグラムの DM でお知らせくださいましたら、掲載いたします。natsumi.iino@gmail.com

インスタグラム・アカウント名：　**mosaic_kaigi**

リンク：　https://www.instagram.com/mosaic_kaigi/



モザイク会議インスタグラムのスクリーンショット

モザイクに会いに行く：Part2

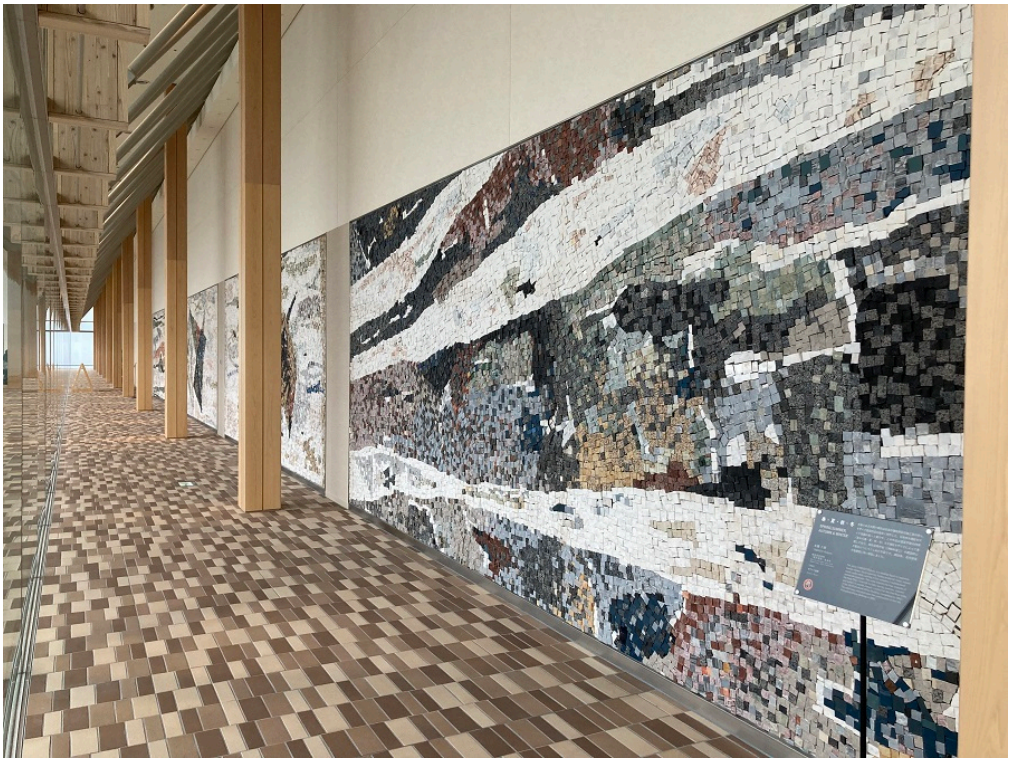
森上千穂　　モザイク愛好家

何度か訪ねて馴染みのあるモザイクが、移設されたり一部が保存されたりする例がここ数年続いています。今回紹介するのはその一つ、昨年1月4日に開庁した新岐阜県庁舎に旧庁舎から移設された矢橋六郎氏の作品です。

新庁舎（左）と旧庁舎(右)が並ぶ姿もいずれ見納めに
２０２２年１２月撮影

数年ぶりに披露された「春」
２０２３年１月撮影

私が初めてこちらを訪ねたのは今から７年ほど前のことです。期待して見に行ったものの、当時はモザイクの前に物があったり４面あるうちの１面が覆われてしまっていたりと、少々残念な状態でした。その後庁舎建て替えのニュースを知り、せめて今見られる部分だけでもよく見ておこうと数回足を運びました。カウンター越しの写真を快く撮らせてくれた受付の女性とのやりとりや、一緒に行った友人と庁舎内の食堂でランチをしたことも懐かしい思い出です。残念ながら1966年竣工の旧庁舎は解体が予定されています。ただ、モザイクは隠れていた部分を含めた全てが新庁舎に移設されることになりました。まさかそんな日が来るとは思いもよらず、開庁を心待ちにしていました。



モザイクが並ぶ清々しい空間
２０２３年１月撮影

2022年12月、５代目となる新庁舎が完成しました。一般参加の内覧会に応募して1回、開庁後にもう1回。待ち遠しかったモザイクとの対面をようやく果たしました！モザイクが移設されたのは、行政棟20階の「清流ロビー」です。地上からの高さ約90メートルの位置にあり、外側が全てガラス張りの展望フロアは見晴らしも最高です。ロビー北側はとても広く、座ってくつろぐスペースなどもじゅうぶんにありました。そして、お目当てのモザイクのある南側の通路へ。「春・夏・秋・冬」と題された４面の連作は、濃尾平野の四季を表現しているとのこと。「春」から順に通路を歩きながら眺めていると、かつて玄関ホールで日々来庁者を迎えた役目を終えた壁画が、静かに岐阜県下を見守っているようにも感じます。欲を言えば、少し離れて正面位置から眺めたいところですが、綺麗に修復され４面揃ったところを間近で見られるのはありがたく（触れるのは不可とのこと）、たっぷりと時間をかけて鑑賞しました。

石材やタイル、木材、和紙など県産品がふんだんに使われているなど、新庁舎は見どころもたくさんあります。清流ロビーは開庁日の午前7時半から午後5時45分までは自由に見られるので、新たな岐阜県のモザイクスポットとしても多くの方に訪れて欲しいです。

本日の一枚：２回目の訪問にてサインを発見　２０２３年１月撮影